



地域学校協働本部だより

令和7年2月21日発行
港区立赤羽小学校 校長
地域コーディネーター

NO.14
中村 美奈子
石川 啓子
大鷲 淳子
袖田 正子
地域学校協働本部担当
小林 砂織
西之原 理恵子

ひな祭りの玄関装飾

3月3日のひな祭りは、女の子の幸せと健やかな成長を願ってお祝いする日です。お雛様のまわりには、桃の花やひし餅、ひなあられ、桜餅、鮮やかな蝶の吊るし雛などを飾り、優しい春を思わせる明るい色合いにしました。

桃の花は魔除け、ひなあられやひし餅の色にはそれぞれ意味があるようです。意味を考えながらお祝いするのも良いかもしれませんね。今年も、健康で元気に過ごせますようお祈りしております。



24節気の話 「^{けいちつ}啓蟄」

冬ごもりをしていた虫たちが暖かくなって外に出てくる頃、つまり春の訪れを意味する言葉だそうです。2025年は、3月5日です。実際に動物や虫が冬ごもりから目覚めるには、最低気温が5度以下にならず、平均気温が10度位の時期といわれています。

また、その年、立春を過ぎて最初の雷が鳴るのも啓蟄の頃です。これを「初雷」(はつらい)といいます。眠っていた虫たちがその初雷に驚いて目を覚ますことから、「虫だしの雷」とか「蟄雷」(ちつらい)という地方もあるそうです。ひな祭りが過ぎると学校は、1年間のまとめや卒業の準備になりますね。慌ただしくなるなかでも身近な春を探してみませんか。



今年も1年間、装飾のボランティアを続けて下さった方々は登校してくる子どもたちが「季節を感じられるように」「学校に来ることが楽しみになるように」と願い、毎月のように玄関や壁を素敵にしてくれました。

今年度は、卒業式、修了式に向けての素晴らしい装飾で最後になります。コロナの時に始まったこのボランティアも5年が過ぎようとしています。ありがとうございます。